

新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

令和2年12月10日 奈良県教育委員会

1 新型コロナウイルス感染症にかかる令和3年度奈良県立高等学校入学者選抜に関するガイドラインについて

各高等学校において、2日前から生徒の立入を制限し、検査会場の消毒、点検を行い、感染予防対策を講じて実施する。

(1) 中学校において感染者が発生した場合の対応について

① 新型コロナウイルス対応の追検査の実施対象者

- ・新型コロナウイルスに感染し、学力検査等の当日までに完治しない者
- ・濃厚接触者としてPCR検査を受け、結果が出ていない者
- ・入学者選抜の検査当日、開始までに体調不良により欠席を申し出た者で、後刻、罹患が判明した者

② 在籍中学校での検査の実施対象者

- ・濃厚接触者としてPCR検査を受け、陰性となり、出席停止となっている者
- ・接触者としてPCR検査を受け、結果が出ていない者

※検査前日に濃厚接触者が特定できない場合は、接触者と考えられる者を中学校での受検とする。

(2) 検査当日に発熱・咳等の症状がある受検者について

- ・検査開始前に中学校又は受検者からの申し出がある場合、追検査による対応を提示する。PCR検査の結果により、インフルエンザ罹患者等対応の追検査、又は新型コロナウイルス対応の追検査のいずれかの受検とする。
- ・受検可能な状態と判断できる場合は、別室での受検は可とする。

(3) 新型コロナウイルス対応の追検査

- ・中学校から完治等の連絡を受け、速やかに実施日時を定める。
- ・各選抜の学力検査と同じ教科の学校独自検査（口頭試問）を実施する。
- ・1教科あたりの検査時間は10～15分とする。
- ・調査書成績、学校独自検査成績、調査書のその他の記載事項に基づき、総合的に合否を判定する。

2 小学校第6学年学習到達度調査について

今年度の学習状況を考慮し、小学校第6学年の児童に学習内容の到達度をはかるため、学習到達度調査を実施する。本調査の実施により、学び残しに対する児童や保護者の不安を解消し、児童が中学校での学習に意欲的に取り組めるようにする。

各学校においては、12月14日（月）から1月15日（金）までの間に、学校の実態に応じて調査日を設定して実施する。

調査の内容は、国語、社会、算数、理科の4教科に加え、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査である。実施に当たっては、G Suite for Education を使用し、児童がパソコン等を操作して解答（回答）する。

3 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の防止に向けた保護者向け啓発プリントについて

偏見や差別の防止に向けた取組として、保護者向けの啓発プリント「子どもたちと話そう！～新型コロナウイルスに関する偏見や差別のこと～」を作成した。

啓発プリントは、学校を通じて各家庭への配布を計画しており、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別の防止について、家庭で子どもたちと話し合う契機としていただく。

4 奈良県知事特別賞の授与について

令和2年度に実施を予定していた高等学校の部活動の全国大会が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止やWeb開催となったため、県内の大会において、顕著な功績があると認められる個人または団体に対し、その栄誉を讃えることを目的とする。

○受賞団体、受賞者

- ・体育部—12団体、19個人
- ・文化部—4団体、9個人